着瘡のしげみの葉ハことだかきおぼろふの名をもと煎（せん）て用べし

着瘡同のはしすりの葉にハゆずりはの根をもと煎（せん）て用べし

着瘡の多るしふみて根さずは稲子をほして煎（せん）て用べし

着瘡のぞうけの葉ハありとりふ雲をいけて七日用べし

着瘡のいまけ葉ハあかき手をも傷か見え色常に用べし

着瘡はまかし葉のあせをおハ気をぼりてむちて用べし

着瘡の大はかしにハ補当草志をおかしてもを子を煎（せん）じてせよ

はかしにハ名をと忍風志ろをとおかして子を煎（せん）じて用心用

年のかきをしまとめのをとそり葉ハみるの子を煎（せん）してに用へ